

一つのチップ上に様々な機能を集積する SoC は、情報通信分野にとどまらず、社会基盤を形成する多くの分野において欠くことのできない構成部品となっています。こうした幅広い応用分野からの要求を満たすべく、SoC の一層の高集積化と異種機能の混載が進められています。同時に、社会基盤等、安全性が特に重視される応用に向けては、製造後の信頼性保証も重要となっています。そこで、今後の SoC とその応用分野の更なる発展を目的に、様々なアーキテクチャの検討、高位から物理レベルまでの回路設計手法、ライブラリ、リソグラフィー等の製造性を考慮した設計手法、更に次世代の SoC において必要となる新技術等、SoC の設計技術を対象分野とする小特集として出版します（平成 27 年 7 月号）。皆様からの御投稿をお願い申し上げます。特に、回路とシステムワークショップでの発表論文の積極的な御投稿を期待します。

## 1. 対象分野

設計環境・ツール、組込みシステム、リコンフィギャラブルシステム、マルチコア・メニーコア設計、NoC 設計、システムレベル設計、IP ベース設計、動作合成・高位合成、論理合成・検証、レイアウト設計・検証、アナログ CAD、タイミング解析、テスト設計、低消費電力設計、高信頼性設計、耐ノイズ設計、DFM、リソグラフィー CAD

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは刷り上がり 2 ページ程度とします。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_ess.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html)) を御参照下さい。著者のうち少なくとも 1 名は本会会員である必要があります。本小特集の投稿にあたっては、次の点にも御注意下さい。

- ・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) で行えます。なお、登録の際、“Journal/Section” については “[Special-SO] Design Methodologies for System on a Chip” を選択して下さい。間違って “[Regular-EA]” を選択しないよう御注意願います。また、Web 上で著作権の譲渡手続きを行って下さい。
- ・初期投稿時に、編集可能な論文本体 (Word/TeX)、図、著者の写真、略歴も投稿する必要があります。
- ・条件付採録の場合、再提出期間が 7 週間程度と短いことをあらかじめ御了承下さい。
- ・論文採録の場合には、掲載料をお支払い頂きます。

## 3. 論文投稿締切日 平成 26 年 9 月 11 日 (木)

## 4. 問合せ先

佐藤高史 京都大学大学院情報学研究科通信情報システム専攻  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 36-1  
TEL [(075) 753-4801, FAX [(075) 753-4802  
E-mail : takashi@i.kyoto-u.ac.jp

## 5. 小特集編集委員会

編集委員長 山田晃久 (シャープ)

編集幹事 竹中 崇 (NEC), 永山 忍 (広島市大), 佐藤高史 (京大)

編集委員 有川勇輝 (NTT), 池田 誠 (東大), 石田 勉 (富士通研), 石原 亨 (京大), 和泉慎太郎 (神戸大), 稲木雅人 (広島市大), 大石亮介 (富士通), 岡田健一 (東工大), 金本俊幾 (ルネサスエレクトロニクス), 金子峰雄 (北陸先端大), 木村晋二 (早大), 黒川 敦 (弘前大), 小林和淑 (京都工繊大), 小平行秀 (会津大), 柴田裕一郎 (長崎大), 瀬戸謙修 (東京都市大), 宋 天 (徳島大), 高木一義 (京大), 高島康裕 (北九州市大), 谷口一徹 (立命館大), 筒井 弘 (北大), 戸川 望 (早大), 富山宏之 (立命館大), 中武繁寿 (北九州市大), 原 祐子 (東工大), 廣瀬哲也 (神戸大), 福田大輔 (富士通研), 細川晃平 (NEC), 松本剛史 (東大), 室山真徳 (東北大), 山下 茂 (立命館大), 弓仲康史 (群馬大), 吉川雅弥 (名城大), 渡邊貴之 (静岡県立大)